

2018GW玄海仮屋・平戸・鷹島クルージング航海記

<その1>

全日程：4月26日～5月6日（10泊11日）

全工程： 海里（最短距離計測）

参加者日程：4月26日～5月6日 渡海・山本・佐竹

4月27日～5月6日 杉山

5月3日～5月6日 平田

日 程（復路 楽しみにしていた鷹島「海上屋台 三軒屋」が休業中で大幅に予定が変更となったが、結果的には強風避難<岩屋漁港>がホームポートに帰る日程・距離がぎりぎりなのと、美味しい思い出と、気持ちよい露天風呂で極楽、極楽）

- 第 1 日目 4月26日（木） 廿日市港 ～58M～ 姫島稻積港
- 第 2 日目 4月27日（金） 姫島稻積港 ～41M～ 関門東口 ～23M～ 岩屋漁港
(杉山 乗船 広島駅よりJR及びタクシーにて22:30)
- 第 3 日目 4月28日（土） 岩屋漁港 ～55M～ 玄海仮屋港
- 第 4 日目 4月29日（日） 玄海仮屋港 ～18M～ 平戸田平港～1.3M～平戸港
- 第 5 日目 4月30日（月） 平戸港～12M～鷹島阿翁浦免港～12M～名護屋港～1M～呼子港
- 第 6 日目 5月1日（火） 呼子港停泊・名護屋城跡及び名護屋博物館見学
- 第 7 日目 5月2日（水） 呼子港 ～46M～ 筑前かしわはら海の駅 2.3M～ 岩屋漁港
- 第 8 日目 5月3日（木） 岩屋漁港停泊（強風の回復待機）
(平田 乗船 五日市～広島駅よりJR及びタクシーにて16:30)
- 第 9 日目 5月4日（金） 岩屋漁港停泊（強風の回復待機）
- 第 10 日目 5月5日（土） 岩屋漁港 ～～ 室津港
- 第 11 日目 5月6日（日） 室津港 ～36M～ 廿日市港

全 航 程（往路：赤線— 復路：緑線—）



4月26日(木) 第1日目

レポーター：渡海

天候：晴れ 北東の風 風力：2～3m
廿日市港～58 マイル～姫島稲積港
島影は似島（安芸の小富士）

メンバー：渡海・山本・佐竹



出航が早朝のためにメンバー3人とも前日から宿泊した。久しぶりの前泊である！

0555 出航予定5分早く出航したために見送りに来た欽也君と、与理君は声が届かない距離で見送ったようである。出航まもなくメインセイルを揚げる。エンジン回転数：1800回転 艇速：7.2ノット。
0640 絵の島西の宮島瀬戸通過、船速：7ノット 回転数：1800 水温計：80度 上げ潮（逆潮）小黒神島過ぎ小型旅客船と行き交う

0730 朝食はサンドイッチ、コーヒー、牛乳、果物のヨーグルト掛

行き交った小型旅客船

け。
0750 兜島北（岩国南東沖）0.5m 北東の風：3～4 船速：8ノット 下げ潮に乗っている。

0850 前島北0.3マイル 大島大橋がはっきり見える 風向：北北西 ふうそく2～3m 波高：0.2

0930 下げ潮にて大島瀬戸通過。

1000 風が南に変わる 風力0、5m 波高0 間もなく下荷内島。

1100 無風で油を流した様な海面を平郡沖本船航路と並行に走る 船速7ノット。

1200 昼食はセブンの弁当とシーフードカップ麺 or 鴨そば。

1410 姫島東漁港入港、いつもお邪魔する漁業組合の集荷場前に着岸。



姫島灯台



1600 拍子水温泉（姫島健康管理センター）に向かう。例年ならヒジキが岸壁広場とところ狭しと沢山干してあるのが、今年はヒジキが全く干してない。春の大潮は数日先？

拍子水温泉は毎度ながら気持ちの良い硫黄温泉である。

地元の人にはすぐに判るのか、湯舟で隣の人に「ヨットで来られましたか」と、声をかけてられた。

1730 艇に帰ってビールを飲みながらマッタリとくつろぐ。

係留風景



拍子水温泉（姫島健康福祉センター）



発電機予備タンク接続給油



天候：晴れのち曇り 風：無風

姫島稲積港～41M～関門東口～23M～岩屋漁港

メンバー：渡海・山本・佐竹

姫島 右側「矢筈岳」の天辺が霞んで見える



0457 関門海峡を引き潮に乗るべく早朝出航、機帆走にて走る。エンジン回転数：1800回転 艇速：7.2ノット

0530 姫島南を航行し島影を完全に抜けた。波、風共に穏やか。

9730 朝食 山本担当 ベーコンエッグと野菜サラダにバケット。

0905 小野田沖石油輸送パイプライン沖通過、関門海峡通過したとみられるヨットと行き交う 依然として風、波無しの油を流した様な海面。

関門橋の下で釣りを楽しんでいるヨット



1220 関門海峡でく総トン数100トン未満の船舶は門司側によって航行することが出来ると成っておりますが、小倉港沖のカーブに差しか掛かる少し手前を通過中に貨物船と行き交うが、少し流されたのか本線航路の内側に入っていたために警笛一発くブウォーと鳴らされ慌てて航路ブイの外に出た。

関門海峡を行き交うタンカー



1235 小倉港沖通過 風：西の風 風速：5m。

1320 響灘 風速：12m 波高：1～1、5m バウのハッチから海水漏れ始める。永らくバウのデッキに波を被るようなクルージングをしないのでハッチに目貼りをするのを忘れていた。年は取りたくないですね。

1630 岩屋漁港の北側の船溜りの護岸に着岸。昨年と同じ鮑の養殖場の前である。

岩屋漁港係留風景



1900 夕食にバラ寿司と味噌汁に胡瓜と縮緬の酢の物。

2100 追っかけ乗船の<杉山君>が来るまでの飲んで待とうかと言っていた山本、佐竹氏は早々と沈没してしまった。

2230 杉山君が乗船。お疲れ！明日から美味しいもの食べられそう。

関門海峡通過中に出遭ったヨット



・・・<杉山> 現役サラリーマンである私は・・・4/27(金)の仕事が終わってから定時で速攻退社。シャワーを浴びて、弁当とビールを買って、20:22のみずほ619号で小倉まで、小倉からは鹿児島本線

で折尾駅まで移動。小倉では16分の待ち時間がある予定でしたが、架線トラブルとかでダイヤがめちゃくちゃになって発車直前の電車の車掌に聞くとその電車が折尾駅に止まるとのことなので飛び乗った。

鹿児島本線は本来快速で 23 分かかる予定でしたが、1 時間遅れくらいの各駅停車になってしまったが、逆に待ち時間なく、ほぼ予定通りに折尾駅に到着。駅からはタクシーでほぼ 10km。3000 円くらいでした。自宅からは 3 時間弱くらいの、22:30 にゼーファーラーに乗船。今年山本さんも加わった毎日が日曜日組の 3 名と合流。山本さんと佐竹さんは寝ていたが、起きていた渡海さんが出迎えてくれた。出港前に運び込んでおいたラム酒（マイボトル）で軽く一杯やってバースに潜り込んだ。

4 月 28 日（土） 第 3 日目

レポーター：山本

天候：晴れ 風：西の風 1m 位 波高：1.5～2.5 のうねり北北東
岩屋漁港 ～55M～ 玄海仮屋港 海上温泉「パレア」

メンバー：渡海・山本・佐竹・杉山

0600 出航 機帆走、エンジン回転数：1800 回転 艇速：7.0 ノット、昨日の名残のウネリにしては違う方向からやって来る。昔聞いた波に関するポリネシアの長老のうん蓄話しを皆に聞かせてあげた。フムフムとみんな納得したようである。ウネリに揉まれながら倉良瀬灯台と地の島の間通過する。筑前大島の島影に入った途端にウネリが無くなった。

宗方から筑前大島に入るフェリーを減速して躲し、筑前大島を右にも見ながら宗方大社の話や、焼却場が随分立派施設過ぎはしないか等と失礼な事を言いながら通過する。

博多沖の玄海島を遥かに見ながら呼子沖の小川島を目指す。

1530 玄海町仮屋港の突堤に着岸、防風壁に書いてある所に電話すると海上温泉に連絡してくれとたらい回しにされた。休日で守衛の人の様。この港は玄界灘から少し中に入っているの、波静かで快適である。

此処の景色は民家が海岸に迫り軒先に漁船が係留しまるで写真で見た事のある伊根の船小屋を思わせる大きな入り江の奥にある穏やかな場所だ。



1400 玄海海上温泉「パレア」に向かう途中、過つての玄界灘地震で被害を受けた神社の鳥居や石灯籠の転倒対策を見学する。当然神社にも参拝し、航海の安全と皆の健康を祈る。境内ではモミジの可愛らしい小さな花が咲いているのを見つけた。初めて見たような気がする。（後で調べてみたら花

でなく実であった）神社からの坂道の出口にハイビスカスの花の様には大きな赤いツツジが咲いていた。

海上温泉「パレア」は温泉棟とレストラン棟に別れ、露天風呂や家族風呂、温泉プール、トレーニングル、個室など充実した立派な建物である。湯上りのあとレストランで佐賀牛を美味しく頂き、明朝利用するかもしれない公衆トイレなど確認しながら艇に帰った。

ここ仮屋港はテレビの電波状況が悪いのか対岸の民家にはアンテナが 1 本も上がっていない。共同アンテナでの有線放送の様で、我々 今夜はまた DVD 鑑賞しながらビール、ラム酒、ワイン、焼酎で宴会が始り、夜が更けてゆく。

仮屋漁港係留風景



三嶋神社の鳥居と灯籠の転倒対策



「パレア」食事風景



4月29日(日) 第4日目

天候:晴れ 風:西の風 1m 波高:0.2

玄海仮屋港 ~18M~ 平戸田平港~1.3M~平戸港

ポーター:山本

メンバー:渡海・山本・佐竹・杉山

平戸 田平港係留風景



0800 出航、機帆走にて走る。エンジン回転数:1800 回転 艇速:6.5 ~4ノット、

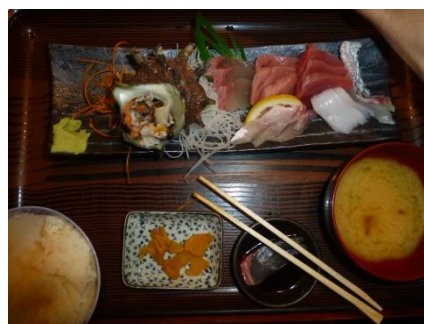
1120 平戸 田平港入港、病院前の護岸、台船と棧橋の間に係留、イベント中の田平港祭を見学しながら、昨年連休後に RCC テレビで放映されていた「刺し身御前」で刺し身お代わり有りの店「萬福」にて4人夫々が違うメニューを頼んで見た。私が頼んだ「かぶら御膳」の量の多さにはビックリ、中華丼ぶりにテニコ盛りで一生懸命食べたので好きなビールも残さざるを得なかった。

最後は皆なで手伝って貰った。杉山君は「刺し身御膳」を注文して刺し身のお代わりしたマグロは大変美味しかった様である。渡海さんは「刺し身御膳」から頼む直前に「サザエの刺し身」に目が行ったようで、此方も大変美味しかったようである。佐竹さんは海鮮丼ぶりを頼むがあまり食欲がなく大半を残した様子。

かぶら御前



サザエの刺身御前



刺身御前



1400 平戸入港 ここ「ひらど海の駅」で何時も係留する奥の棧橋に他の船で満杯なので、手前の棧橋に係留し、観光協会に届け出る。事前に予約はできないが、係留費が無料なので、みなさんまた来ようと言う気になると思う。この棧橋は以前黒いゴムが全体に敷いてあり、黒い色が靴底に付いてデッキを汚していたが、今は綺麗にしてあり快適になっていた。

平戸の観光は何度も散策した事があり、去年はレンタカーを借りて島の南端から北端まで見て回り、おまけに隣の島「生月島」まで見ているので観光しようと言い出す人も居ない。夕方まで暇なので、コックピットの波よけキャンバス下の金物(ファスナー)を取り替える作業を始めたが、あっという間に終わってしまった。

1500 昨日の夜途中で眠たくなって中止した DVD を夕食までの時間つぶしに見始める。

1645 平戸で楽しみの料理屋「大徳利」に向かう。我が艇のシェフで、食通で食いしん坊の杉山君が、予め予約して置いてくれたお陰で待ち時間なく座れた。先見の明あり！

単品で、「アジの刺身」、「ヒラメの刺し身」、「タコの刺し身」を頼み、天麩羅定食を各自で夕食スタートするが、今日の昼食に「萬福」で渡海さんがたべたサザエが美味しそうだったのか、佐竹さん「サザエの刺し身」を追加注文する。

タコの刺し身



ヒラメの刺身



サザエの刺身



美味しくとお腹いっぱい！ 動けない。艇に帰ったが、お腹いっぱいでもいつもの様に二次会も盛り上がりながら皆さん各自のバースで食べ疲れて就寝・・・・・・・・・・

平戸港「ひらど海の駅」係留風景



栈橋対岸の「平戸城」



シングルハンドのモータークルーザー



綺麗に成っている「ひらど海の駅」栈橋



セールアップ準備中の山本君



ワッチ中の杉山君

